

総研大公開講演会

『私の歴史』を考える一個人の記録・個人の史料を読む」

日時：2025 年 6 月 14 日（土）13:00～15:00 会場：国立歴史民俗博物館 講堂

「歴博の大学院」である総合研究大学院大学（総研大）先端学術院先端学術専攻 日本歴史研究コースが、教員と修了生による講演会を開催します。ふるってご参加ください。（入場無料）



「戦時下の個人雑誌を読む」

佐久間 俊明 大阪府立山田高等学校教諭 / 総研大 修了生

<プロフィール>

1981 年東京都生まれ。

明治大学文学部史学地理学科卒業，明治大学大学院史学専攻博士前期課程修了，総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻博士後期課程修了。博士（文学）。

日本近現代史・歴史教育論。

穎明館中学高等学校教諭を経て，現在，大阪府立山田高等学校教諭。

<論文・著書・受賞歴>

『清沢洌の自由主義思想』（日本経済評論社，2015 年）

第 4 回名古屋大学水田賞受賞

『高校教員のための「歴史総合」ハンドブッカー教科書比較から見えてきたもの』（共編著，法律文化社，2025 年）



『わたくしの歴史』と民衆史研究」

大串 潤児 国立歴史民俗博物館／総研大 教授

<プロフィール>

1969 年東京都生まれ。

東京学芸大学教育学部卒業，一橋大学大学院社会学研究科単位取得退学。

日本現代史。

信州大学人文学部教授を経て，現在，国立歴史民俗博物館教授。

<論文・著書>

『「銃後」の民衆経験—地域における翼賛運動』（岩波書店，2016 年）

『国策紙芝居』御茶の水書房，2022 年（編著）

*二人の講演の後、工藤 航平（歴博／総研大 准教授）を交えて、鼎談を行ないます。